

教えてはちくん!木づかい通信 Vol.3



大館市観光キャラクター
「はちくん」
※チェンソーマンVer.

テーマ

樹木は生きている?

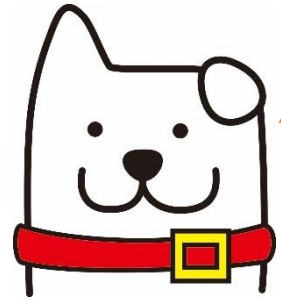
～細胞が全部生きているとは限らない、特に樹木の幹では～

WOOD CHANGE! TOPICS:「大館市役所新庁舎」

令和3年6月
産業部林政課

テーマ「樹木は生きている？」

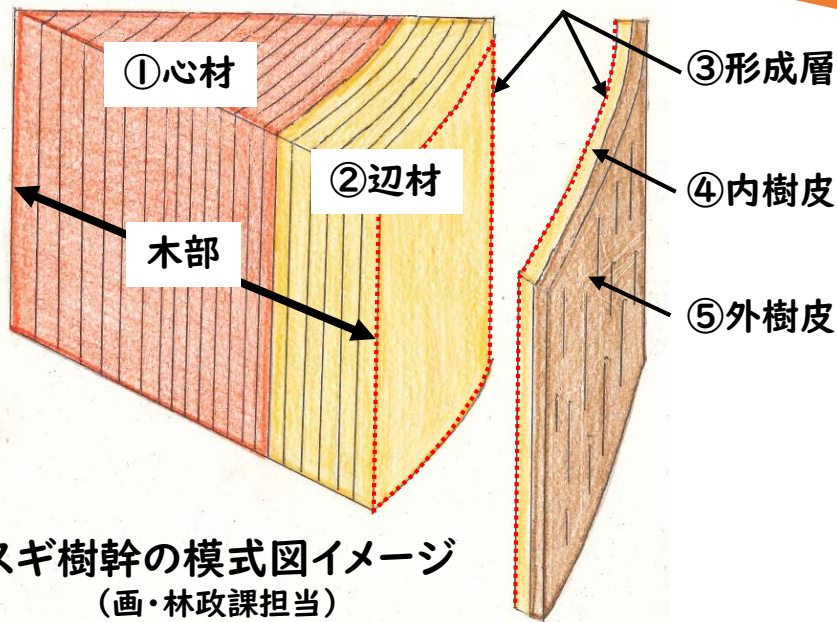
教えてはちくん!



人間(動物)はほとんどの細胞が生きていますが、樹木の樹幹では、多くの細胞が壁(細胞壁)だけを残して内部が空っぽ、あるいは水分だけになっています。つまり、生きている樹木であっても、樹幹の大部分は「生きていない」のです。樹木は樹皮の下にある形成層という薄い層が細胞分裂して、外側に太っていきませんが、この時できる細胞は、柔細胞という栄養分の貯蔵庫となる細胞を除いて、しばらくすると内容物が流れ出して、死んでしまいます。

「目からウロコの木のはなし、P14~16」

図で見てみよう



スギ樹幹の模式図イメージ
(画・林政課担当)

どの部分が生きているの??



- ・樹幹は表面の「樹皮」と内部にある「木部」に二分。
- ・木部は色の濃い「①心材」と、薄い「②辺材」に分けられる。
- ・樹皮は表面に近い「⑤外樹皮」と、白い「④内樹皮」に分けられる。
- ・内樹皮と辺材との間が「③形成層」。

①～⑤の部位の細胞の中で生きて生命活動しているのは、細胞分裂を行う③形成層と、④内樹皮と②辺材のごく一部にある柔細胞。

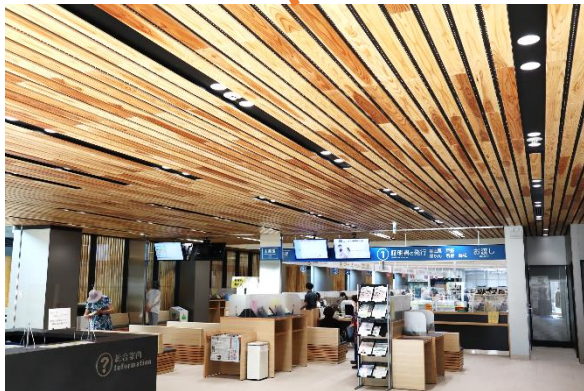
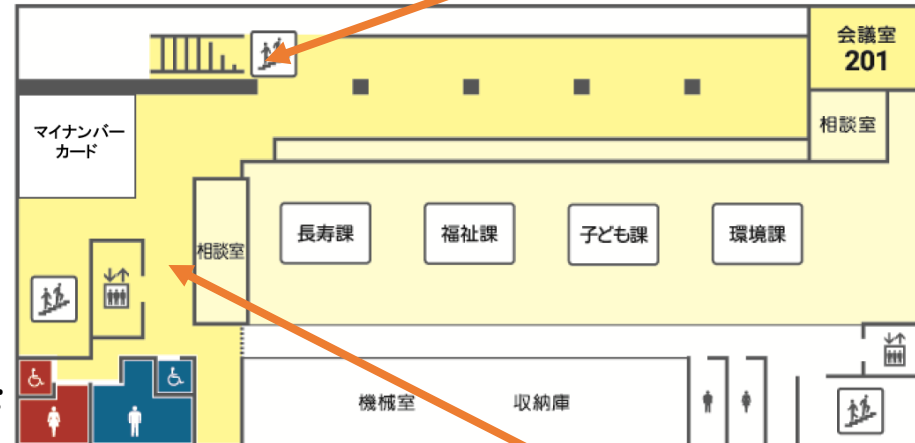
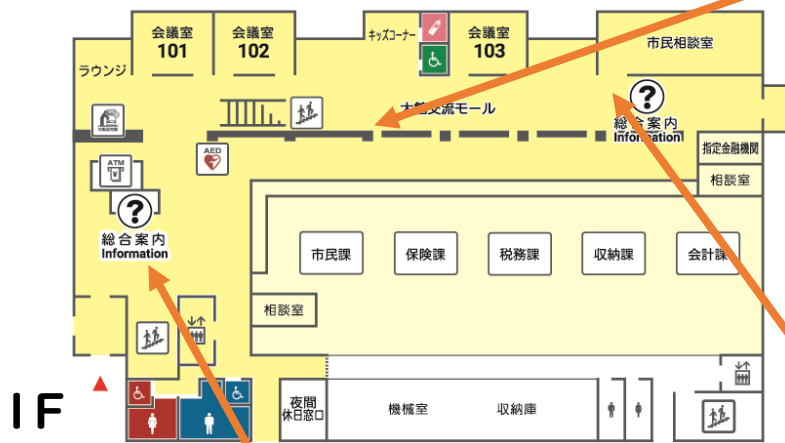
⇒樹幹の細胞のほとんどが死んでいるので、「木は生きている」と言いにくいかもしれませんが、首の皮一枚だけのような状態でも木は生きて成長しています。子どもたちに木のすばらしさを伝えていくためにも「木は一生懸命生きているんだよ」、「頑張っているんだよ」といったポジティブなイメージを伝えていきましょう。



大館市役所新庁舎

令和3年5月6日に新庁舎が開庁しました。
内装の木質化、木製備品の導入など「木材」の利用
状況を紹介します。

WOOD CHANGE! TOPICS





※3~4Fで秋田スギの案内版を使用



※各課で秋田スギのネームプレートを使用

